

北代縄文通信

来場 15 万人を達成しました！

平成 11 年 4 月 29 日にオープンした富山市北代縄文広場は、平成 27 年 8 月 12 日に来場 15 万人という記念すべき日を迎えました。このすばらしき節目にご来場くださったのは、縄文土器づくり体験に訪れた富山市立呉羽中学校 1 年生のお友達グループ、土田休蓮さん、松浦 暖さん、柳清亜沙さん、庄司隆汰さん、森 永志さん、深田勇一さんの 6 人です。

富山市北代縄文広場ボランティアの会などスタッフ一同でお出迎えした後、富山市埋蔵文化財センターの古川知明所長、富山市長岡地区自治振興会の中山敏明会長があいさつし、ボランティアの会の西村盛一会長とあわせ、全員でくす玉を割ってお祝いました。来場 15 万人の記念品として、ボランティアの会の会員がこの日のために丹精込めて製作した手づくりの縄文土器を贈呈しました。土田さんからはお礼として「小学生の時から何回も遊びに来ていたので、15 万人目になってうれしい。」との言葉があり、地元子どもたちが縄文広場に愛着をもって過ごしてくれてきたことを一同たいへんうれしく感じました。

来場者のみなさんが気持ちよく縄文ロマンを感じ、体験学習できる広場であり続けられるよう、スタッフ一同、今後も研鑽を重ね、ご来場をお待ちしております。



北代縄文サマーフェスタを開催しました

平成 27 年 8 月 23 日に、来場 15 万人達成記念のサマーフェスタを開催しました。来賓（田畑裕明衆議院議員・藤井清則富山市議会議員）のご臨席の下で来場 15 万人達成を祝った後、わの舞の皆さんによる演舞で縄文ロマンにひたりました。まるで縄文時代の北代に住んでいた人たちが舞っているかのような幻想的な空間をつくりだしていただきました。

その後は、長岡地区住民の皆さんによるダンスパフォーマンスや富山市役所職員によるバンド‘City BB’コンサート、ビンゴゲームなどが催され、多くの世代が交流する夏の楽しい思い出となりました。



来賓の方々と一緒にくす玉でお祝い



わの舞の皆さんによる幻想的な演舞



ノリノリの City BB の皆さん



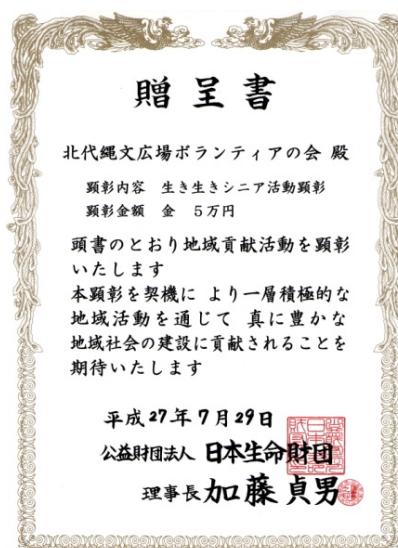
心を込めて縄文土器を焼き上げました！

ボランティアの会が「生き生きシニア活動顕彰」を受賞しました

富山市北代縄文広場ボランティアの会は、公益財団法人日本生命財団が実施する平成 27 年度ニッセイ財団“生き生きシニア活動顕彰”団体に選定されました。

この顕彰は、日本生命財団が元気な高齢者が主体となつて行う地域貢献・社会貢献活動に対して、都道府県知事の推薦に基づいて選考したもので、平成 27 年度は全国で 160 団体（内、富山県では 6 団体）が選ばれています。

7 月 29 日、富山県民会館で行われた顕彰助成の目録贈呈式では、児童・少年の健全育成助成を受けた県内 5 団体とあわせて 11 団体の代表に対して、同財団の伯井穂文常務理事事務局長があいさつ、竜田和弥日本生命富山支社長から目録が贈呈されました。また富山県の井内努厚



生部長もあいさつして県知事のメッセージを伝えました。

この贈呈式には、富山市北代縄文広場ボランティアの会を代表して西村盛一さんと石倉秀一さんの2名が出席し、式後の懇談会にも参加して活動の一端を紹介・交流しました。ボランティアの会の西村会長は、「今回の顕彰は、昨年受賞した『ボランティア活動推進富山県民会議会長賞』に続く名誉な出来事です。ちょうど縄文広場来場者15万人達成の時期に重なり、大変嬉しく思います。今後も地域の文化財を守り伝え、多くの市民に親しまれるような縄文広場にしたいと思っています」と語っています。

体験学習の感想文

《 縄文土器づくり 》

ぼくは、高岡ちようかくそう合しえん学校六年生の柰大優斗です。
先日は縄文のお話をお聞かせいただき、ありがとうございました。
縄文時代の人々のくらしがとてもよくわかりました。また、縄文土器の作り方をていねいに教えてくださって勉強になりました。
これからも、お体に気をつけてお仕事をがんばってください。
本当にありがとうございました。

6月30日

高岡聴覚総合支援学校6年 柰大優斗

※柰大優斗さんは製作直後の感想として、「どきを作るとき、かたちをつくるのがむずかしかったです。」とも書いてくれました。



《柰大優斗さんが描いたスケッチ》

縄文広場の新しい仲間たち

平成 26 年度に加わった新しい仲間たちをご紹介します。先輩スタッフと力を合わせ、ご来場いただいた方々に気持ちよく過ごしていただけるよう、日々奮闘しています。

縄文広場管理人ー水原 美知夫（みすはら みちお）ー 1949 年生まれ

私は北代に住み 39 年余りになります。北代遺跡の事は聞いていましたが、地区の行事等で何度か足を運んだ程度でした。平成 26 年度から管理人を務めることになりました。前任者や、ボランティアの会の会長さん達に尋ねながら、来場された皆様のお役に立てるよう努力します。物づくりの仕事をしてきた関係で、土器の形や模様等にも興味があります。長年にわたり地区の体育協会の会長を務めた経験も活かし、数多くの皆様にご来場いただき、地域の方をはじめ、いろいろな方々とイベント等を通して交流を深めていきたいと思っております。



縄文広場ボランティアー西村 美直子（にしむら みちこ）ー 1949 年生まれ

私は、八ヶ山に嫁に来て 45 年になります。初めはなんて田舎に嫁に来たんだろうと思い、小学校の遠足で、八ヶ山公園へ花見に来たことを思い出しました。でも住みなれると静かで、米・野菜がおいしく、車が運転できれば、こんな便利な所はありません。職も定年となり、なにか新しいことに挑戦してみようと思い、縄文ボランティアの誘いを引き受ける事にしました。一からの勉強だと思い、ガンバって行きたいと思えます。よろしくお願ひします。縄文の歴史、土器づくりの体験、長い人生の中で、学ぶことが本当にたくさんあります。



縄文広場ボランティアー中林 隆夫（なかばやし たかお）ー 1944 年生まれ

北代縄文広場の向かいに住んでおります。建築関係の仕事に 50 年間従事し、一昨年退職しました。特に遺跡に関して殆ど知識はありませんが、少しでもお役に立てるよう努めてまいりますので、よろしくお願ひします。



北陸新幹線とほぼ隣接した「北代縄文広場」は、人類の生活の発展を対比する上で貴重な施設ではと思います。

縄文広場ボランティアー守田 章（もりた あきら）ー 1950 年生まれ

北代に生まれ 64 年程経ちました。幼少の頃に北代大畑（現在の縄文広場）で友人達と土器を探して遊んだ記憶があります。

歴史は得意ではありませんが、縄文広場がすぐ隣でありボランティアの誘いを受け僅かながらお手伝いできたかと思ひ入会しました。よろしくお願ひ致します。



北代縄文広場ホームページ

<http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/maibun/index.htm>

北代縄文通信 第 41 号：編集・発行 富山市教育委員会 埋蔵文化財センター